

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

I・IIの大問構成に変化なし。IIでは英文による記述問題のみの出題に昨年から変化なし。内容説明3題と自由英作文2題で前年より2題増。

その他トピックス:

IIはPhilosophy in the classroom『子どものための哲学教室』からの出題

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
I	読解	被食者ガゼルと捕食者チーターの身体能力	・空所補充 ・内容一致 ・同義語抜粋	やや易	本文は内容・語数ともに読み易く設問も比較的平易 内容一致問題の選択肢に含まれる比較表現に注意。
II	読解+ 英文記述	子供に特有の感性 "sence of wonder"	問1.(1) 内容説明(50~60語) (2) 理由説明(30~40語) (3) 内容説明(70~80語) 問2.(1) 自由英作文(70~80語) (2) 自由英作文(100~120語)	やや難 やや難	本文全体は理解し易い内容。 問1は対応箇所を特定し、要約する問題。語数指定はないが、解答用紙の行数から判断する。 問2は自身の体験と発想を英文で記述する。 (1) 子どもの頃は不思議に思っていたが成長して考えるのをやめてしまった経験について理由を含め説明する。 (2) 自身が小学校教諭だったら、生徒の驚きの感性を失わせないためにどのようなことをするか、例を挙げ説明する。

〈学習対策〉

教育関連のトピックが例年扱われているため、日頃からこの分野の話題や研究に注意を向け、自分の意見を持つようにしたい。自由英作文では、観察力、発想力、思考力が問われる出題が定番となっている。自身の経験に照らし合わせ、教育現場への関心や知識を広げるようにしたい。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

基礎的な知識及び技能を使う出題である。

その他トピックス:

関数の微分可能性を問う問題が出題された。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	B	数列の和	【等差×等比】数列の和を求める	やや易	$S_{n-1}/5S_n$ を計算する。教科書の例題に出てくるタイプの問題である。
2	Ⅱ	グラフの交点・面積	グラフが2点で交わる条件・曲線で囲まれた部分の面積	普	面積で $\int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)(x - \beta) dx = -\frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3$ を使えると解きやすい。
3	Ⅲ	積分	三角関数の積分	やや駅	・三角関数の積→和、積→差の公式を使う。 ・偶関数、奇関数を積分するときの公式が使えるか。
4	Ⅲ	微分	$x=0$ で $f''(x)$ が微分可能であるか考える。	やや難	$f(x)= x ^3$ のとき $f''(0)$ が存在するかどうか微分の定義に従って考える。

〈学習対策〉

教科書、問題集の例題や練習問題をしっかり解くこと。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

基礎的な知識及び技能を使う出題である。

その他トピックス:

【等差×等比】数列の和が出題された。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	B	数列の和	【等差×等比】数列の和を求める	やや易	$S_{n-1}/5S_n$ を計算する。教科書の例題に出てくるタイプの問題である。
2	Ⅱ	グラフの交点・面積	グラフが2点で交わる条件・曲線で囲まれた部分の面積	普	面積で $\int_{\alpha}^{\beta} (x - \alpha)(x - \beta) dx = -\frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3$ を使えると解きやすい。

〈学習対策〉

教科書、問題集の例題や練習問題をしっかり解くこと。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

古文出題出典の予告があった。小説は松ヨビ出題歴有り

その他トピックス:

昨年に引き続き字数制限のある問題はない

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	漢字	よみ(5問) 書き取り(5問)	書き取り…文章内の誤字を訂正する	普	会議記録文章の中から誤字を見つける
2-問1	評論	暉峻淑子 「社会人の生き方」	一 内容説明	普	
2-問2			二 語句の辞書的な意味	普	
2-問3			三 内容説明	やや難	
2-問4			四 内容説明	普	
2-問5			五 内容説明	難	問五は全体のまとめでもあるので、今までの記述内容と重なっても良い。
3-問1	小説	太宰治「角力」	一 内容説明	普	(2019)実戦シリーズ、現代文(理系)実戦テスト第二講出題歴あり
3-問2			二 内容説明	やや難	
3-問3			三 内容説明	普	

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

3-問4			四 内容説明	難	
3-問5			五 内容説明	難	
4-問1	古文	「徒然草」第十九段	一 内容説明	やや難	今回の入試に於て古文は「徒然草」から出題されると予め予告されていた。
4-問2			二 内容説明	やや難	
4-問3			三 選択問題	易	
4-問4(1)			四(一) 文法の説明	普	
4-問4(2)			(二) 内容説明	難	
4-問5			五 表現方法の説明	難	
5-問1(1)	漢文	“「齊諧記」(六朝時代の小説集)”	一(一) 現代語訳	易	表現や効果について説明する問題が難しい
5-問1(2)			一(二) 理由説明	易	
5-問2			二 内容説明	普	
5-問3(1)			三(一) 語句の意味	普	
5-問3(2)			三(二) 表現方法の説明	難	
5-問4			四 効果の説明	難	

2024信州大学 二次解答分析速報

教科: 国語

学部: 教育 学科(課程・専攻): 現代・国語・社会・家庭・特別支援・心理支援

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈学習対策〉

- 解答欄の大きさに合わせた解答作成を練習する
- 古文は信州大学より出典の予告があったので、受験情報のチェックは欠かせない。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科: 物理・物理基礎

学部: 教育・理・工・繊維

学科(課程・専攻): 教育(理、も)・理(物理)・工(全)・繊維(全)

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 増加 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

答えのみ書かせる形式がほとんどだが、昨年同様、グラフを書かせる問題が出題された。

その他トピックス:

出題分野は昨年と同じ力学、波動、電磁気、熱力学であったが、問題の分量と計算量ともに増加し難化した。(小問の数は、昨年比約1.5倍である。)

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	力学	運動方程式・運動量保存則	斜面上の質点の運動と衝突	やや難	慣性系と加速度系における運動のイメージが正しく理解できているかを問う。後半の計算が複雑で時間を消耗させられる。
2	波動	ドップラー効果	一直線上での音源と反射板の運動	普	典型的な問題なので完答出来て欲しい。
3	電磁気	電場、電位、エネルギー保存則、単振動	点電荷による電場中の荷電粒子の運動	やや難	前半は計算が煩雑ではあるが基本的な問題。しかし最後の単振動の扱い方が通常と異なる問題設定なので難しい。
4	熱力学	熱力学の第一法則、エネルギー保存則	シリンダー内の気体の状態変化	やや難	(a)(b)の小問は典型問題だが、(c)(d)の熱平衡状態の温度を求めるのが難しい。

〈学習対策〉

昨年に比べて問題量、計算量ともに増大した。このままのレベルが続くとは思われないが、それでも平易な問題がしっかり得点できるかがポイントである。標準的問題集をしっかりと演習し、自分のものとするとともにハードな計算をやり抜く力を養ってほしい。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科: 化学・化学基礎

学部: 教育・理・工・繊維

学科(課程・専攻): 教育(理、も)・理(化学)・工(物質化学)・繊維(全)

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

今年度も理論分野2題、有機分野2題の構成であった。

その他トピックス:

デオキシアデノシン-リン酸(ヒントあり)の「構造式を書かせる問題が出題されていた。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	理論	溶液・コロイド・浸透圧	計算・論述・用語	普	懸濁液(サスペンション)、乳濁液(エマルジョン)を応えさせていた。液面差の計算は演習問題で見慣れたレベルであった。
2	理論	酸・塩基・化学平衡・電離定数	用語・計算・反応式	易～普	圧平衡定数、中和の量的関係、水素イオン濃度などの計算が出題された基本問題であった。
3	有機・理論	メタンの性質・熱量計算・フェノール樹脂	正誤・計算・反応式	普	熱量の計算は基本問題。フェノール樹脂の計算問題は経験の有無が決めてとなった。
4	有機	多糖類、酵素、ゴム	用語・計算・論述	普	(2)のアミロペクチンの枝分かれの問題はレベルは高いがどの問題集にも取り上げられている。デオキシアデノシン-リン酸の構造式は戸惑うかもしれない。

〈学習対策〉

入試問題集の典型的な問題を解けるようになっていけば、かなりの高得点が期待できる。無機分野からの直接の出題はないが無機の知識は理論分野の理解を支えるものなのでおろそかにしないこと。有機分野の出題割合が多いので、この分野でしっかり得点できるように。今まで出なかったゴムが今年出題された。合成高分子の分野も十分に学習しておくことが大切である。

〈全体分析〉

解答形式 記述式

分量・難易(前年比較) 分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)
 難易(易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴

教科書レベルの基本的な問題が多いが、教科書では「参考」「コラム」などとして扱われている内容の出題もある。生物・生物基礎の範囲から幅広く出題されている。例年知識問題が多いが、実験考察型の出題もある。論述式の問題が多く、本年度は9問で字数は1行程度×4、80字程度の枠×3、20、60、150、140、60 計770字程度(1行問題は25字として計算)。昨年と比べて問題数、総文字数ともに増加した。昨年度無かった枠だけが与えられる出題形式が復活した。また、昨年に続き計算式を書く問題も出題された。

その他トピックス

大問2は本格的な実験考察問題であるが、「入試過去問題活用宣言」を利用した山形大学 2011 の過去問を使った問題。

〈大問分析〉

問題番号	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式(選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	生物の体内環境の維持	免疫	知識問題 論述問題1(解答数4)	標準	自然免疫と獲得免疫に関する標準的な穴埋めとウイルスと生物の共通点(1つ)と相違点(3つ)の論述。問4のワクチンに関する問題は削除。
2	細胞・酵素	アポトーシスを題材とした実験	実験考察問題 論述問題3	やや難	アポトーシスの誘導についての3つの実験結果からアポトーシス経路にかかわるタンパク質の働きを考える。実験内容を理解しデータを論理的に処理する思考力が必要。
3	植物の環境応答	花芽形成	知識問題 論述問題3	標準	花芽形成に関する標準的な問題。論述は日長を感知して花芽形成を誘導するしくみと春化の植物にとっての利点など。
4	生態系	物質生産	知識問題 計算問題3 論述問題2	標準	森林の物質生産について、総生産量・1年後の現存量などの計算と経年による純生産量の変化、熱帯多雨林の土壌有機物量に関する論述。標準的。

〈学習対策〉

標準的でオーソドックスな問題がほとんど。やるべきことをしっかりやれば高得点が期待できる問題構成。ただし教科書の「参考」「コラム」などの記述も丁寧に理解しておく必要がある。本年度は本格的な実験問題が出題されたが、問題文を飛ばさずに読み、実験結果やグラフを丁寧に読めば難しくはない。
 対策は教科書の内容を徹底的に学習すること。また、論述量が多いので、50～100字程度の論述答案を書く訓練を、早い時期から練習しておきたい。論述内容は知識型が多い。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科: 地学・地学基礎

学部: 教育 学科(課程・専攻): 理科、ものづくり・技術

入試区分 前期

試験時間: 90 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

各分野まんべんなく、基本事項を中心に出题される。論述問題が多い。

その他トピックス:

解答設問数が昨年比3割程度多かった。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
1	地球の歴史	地表の変化と地層	地質図と層序決定	普	3次元の地質図の読み取り。層序や地層の走向・傾斜等の決定等、基本的な内容。
2	地球の変動	地殻の構成岩石全般	採集された岩石標本の特定	やや易	火成岩・堆積岩・変成岩全般の観察結果による特定。比較的分かり易い。
3	大気と海洋	地表の水	水の循環と降水	普	標準的な内容だが、計算問題がやや難しいかもしれない。パターン問題ではあるので、他大学のものも含め、赤本等で演習を!
4	宇宙の構造	恒星の進化	恒星の誕生と進化全般	普	解答数が多いが、大多数が基本事項なのでやりやすかったと思われる。

〈学習対策〉

知識としては教科書と資料集で十分におつりがくるので、図表や写真に見慣れておくこと。論述問題も多いので、用語や現象などを自分なりに説明できるようにしておくことよ。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科: 世界史

学部: 教育 学科(課程・専攻): 社会

入試区分 前期

試験時間: 45 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

論述中心: 総文字数2021:575字→2022:500字→2023:525字→2024:450字

その他トピックス:

語群選択・配列問題なし

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
(1)		帝国主義	表中の国名解答	普	最も特徴的な数値から国名を絞る。
(2)		植民地政策の背景	論述(300字)	普	条件の”思想文化”で何を指摘するかがやや難しいがテーマとしては取り組みやすい。
(3)			名称解答	易	
(4)		秘密外交とその影響	論述(150字)	やや易	秘密外交の内容は基礎レベル。影響のまとめ方に工夫が必要。

〈学習対策〉

論述問題への対策が中心になるので、ある歴史的な事件・概念・テーマを学習する際、必ずその背景・影響にも留意するようにしよう。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

<input type="checkbox"/> 分量 減少	<input type="checkbox"/> 難易 易化
<input type="checkbox"/> 分量 やや減少	<input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや易化
<input type="checkbox"/> 分量 変化なし	<input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし
<input checked="" type="checkbox"/> 分量 やや増加	<input type="checkbox"/> 難易 やや難化
<input type="checkbox"/> 分量 増加	<input type="checkbox"/> 難易 難化

出題の特徴: 選択問題がなくなり、史料中の基本的な用語を答えさせる問題が6つから2つと減少。しかし論述は前年度と同じ3問ながら字数は前年度の100字・50字・400字から35字・250字・400字となり、分量が増加した。前年度からコロナ禍以前の論述重視傾向への揺り戻しが見て取れたが、全体的に受験生の負担がやや増加したといえるか。

その他トピックス: 問題全体の傾向として、前年の宗教・身分制度・社会運動という、苦手とする受験生が多い傾向の分野から、基本的な政治・法令に移った。しかしBの400字論述は法令の制定目的に加え、戦時下の社会の変化というテーマも含んでおり、様々な視点から各知識を関連付ける学習が必要と思われる。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
A(1)	院政期 (平安末期)	院政	用語説明	普	「重任」は受領の不正の典型の1つ。基礎的な知識であり字数を整えるのもさほど困難ではない。
A(2)	院政期 (平安末期)	院政	用語記述	普	院政期の史料として内容のわかりやすい神皇正統記が提示されているが、「宣旨」「官符」という語句に対し「b」「序御下文」と、対比させた内容の文章なので、初見でも「院宣」を答えることは容易。
A(3)	院政期 (平安末期)	院政	論述	普	院政についての250字の論述問題。語句がBの400字論述と同じく5つ指定されている。内容としては院政の解説という比較的容易なテーマであり史料の内容や指定語句に沿えばそれなりの文をまとめることは十分可能である。
B(4)	近現代	国家総動員法と戦時下の社会	用語記述	普	史料内の重要用語を答えさせる問題。国家総動員法自体が重要な法令であるうえ漢字5字という指定もあるので容易な問題。
B(5)	近現代	国家総動員法と戦時下の社会	論述	普	国家総動員法制定の目的と施行後の国民生活を問う問題。やはり5つの語句指定があり、これらにまつわるトピックへの誘導となっている。法令制定の目的については、史料の第一条をヒントにすれば難しくない。また第四条の勅令によって国民や物資のコントロールが可能という点から、この勅令で代表的な「国民徴用令」をあげて戦時下の経済・社会統制の実情を記述するのは、書きやすい流れと言えるだろう。あとは配給制や産業報国会などの用語にまつわる部分で、どれだけ知識を活かし記述できるかがポイントとなる。難易度としては標準的な問題。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科: 日本史

学部: 教育 学科(課程・専攻): 社会

入試区分 前期

試験時間: 45 分

〈学習対策〉

出題形式・分量に変動はあったものの、相変わらず見慣れた史料が提供され、それについて問う記述・論述形式が踏襲されている。まんべんなく基礎知識をしっかり身に着けていることが前提であるが、問われていること自体は標準を超えることのないレベルである。論述の分量増加を見ても、合否を分けるのはやはり論述対策がしっかりできているか否かだろう。論述を苦手とする人はもちろん、文章を書く力のある人も、事前に多くの過去問などを参考に、迅速かつ簡潔にまとめるトレーニングをおおいに実践してほしい。文章の参考例としては、下手な参考書や

2024信州大学 二次解答分析速報

教科:

学部: 学科(課程・専攻):

入試区分

試験時間: 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

地図から地形の特色やその形成過程を答えさせる問題。人口問題について地図を併用してその内容や課題も答えさせる問題。

その他トピックス:

統計を読みとる問題がなくなり、地図を読みとる問題が増えた。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
3-A (1)	A	地形分野	大地形、選択肢	易	aは新期造山帯のカフカス山脈
3-A (2) 1			大地形、論述	普	1 海嶺を答えさせる
3-A (2) 2					2 海嶺はプレートの「広がる境界」であることを論述
3-A (3)			小地形、論述	普	フィヨルドの地形的特徴を論述。地図はニュージーランド南島の南西部
3-B (4)	B	人口分野	少子化と高齢化 二枚の図のそれぞれが表す指標を選択する	普	日本の数値の高低からそれぞれの指標を判断する。高い数値が死亡率、低い数値が合計特殊出生率
3-B (5)			(4)で各図を選択した理由を論述	やや難	(4)と同様の観点から分布の特徴を読み取り取る。先進国か途上国か、という観点から論述
3-B (6)			日本の人口問題について指定語句を用いて論述	やや難	少子化と高齢化に伴う生産年齢人口の割合低下による課題へと論述を進める。「高度経済成長期」の指定語句の使い方が難しい。

〈学習対策〉

2024信州大学 二次解答分析速報

教科: 地理

学部: 教育 学科(課程・専攻): 社会

入試区分 前期

試験時間: 45 分

- 地形、地形図、気候、水などの自然地理分野は毎年出題された。
- 系統地理、地誌ともに、図表を用いた問題(選択、論述)が主体であった。

2024信州大学 二次解答分析速報

教科: 政治・経済

学部: 教育 学科(課程・専攻): 社会

入試区分 前期

試験時間: 45 分

〈全体分析〉

解答形式:

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 分量 減少 | <input type="checkbox"/> 難易 易化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや減少 | <input type="checkbox"/> 難易 やや易化 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 分量 変化なし | <input type="checkbox"/> 難易 変化なし |
| <input type="checkbox"/> 分量 やや増加 | <input checked="" type="checkbox"/> 難易 やや難化 |
| <input type="checkbox"/> 分量 増加 | <input type="checkbox"/> 難易 難化 |

出題の特徴:

成年年齢の引き下げなど経済指標からの出題であった。

その他トピックス:

問題形式が昨年とほぼ同じであった。

〈大問分析〉

問題	区分・範囲	項目・テーマ・出典	内容・形式 (選択・記述・論述など)	難易度	コメント
6-A	A 政治	成年年齢の引き下げなど	・民法、少年法、消費者契約法 ・選択問題、記述問題、論述問題	やや難	婚姻開始年齢が統一された理由について説明できるかがポイント。
6-B	B 経済	経済指標	・GDP、GNI、GNP ・選択問題、論述問題	やや難	GNPに代わってGNIが用いられている理由について説明できるかがポイント。

〈学習対策〉

- 政治・経済の用語を用語集などで確認し、説明できるようにしておくこと。
- 基礎固めの段階から、単なる暗記だけでなく、論理的に考える習慣をつけること。